4月18日 テーマ: 大から向けられているはしご

聖書箇所:創世記28章1節~22節

◆今日のみことば

"見よ。わたしはあなたとともにあり、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ戻そう。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。" 創世記 28 章 15 節

## ◆メッセージ

お父さんやお母さんと聖書の話を聞くのは好きですか?聖書のお話は好きだけど、神さまのことを信じているかな?ここに出てくるヤコブさんは、イサクお父さんやリベカお母さん、そしてエサウお兄さんらとずっと神さまの話を聞いて育ちましたが、まだ「僕は神さまを信じてる!」ってわけではなかったようです。

そんな中、ヤコブさんは兄弟げんかや家庭の問題がひどくなって、一人で旅に出なければならなくなってしまいました。遠いハランという土地まで、その日どこに泊まるかの準備



もないまま旅立ったのです。とぼとぼ進み、ちょうど日が沈んだので、ヤコブさんはそこに転がっている硬い石を枕にキャンプをしました。すると夢のなかで、一つのはしごを天使が上り下りしているのを見たのです。そこで、神さまは①ヤコブさんがどこへ行っても守ってくださること、②お父さんお母さんのいる場所へ連れ戻してくださること、③決して捨てないことを約束してくださいました。

ヤコブさんが豊かかった」と、なあんだ、夢だったのか……」とがっかりしませんでした。ヤコブさんは夢の中の出来事と約束に驚いて「まことに主がこの所におられるのに、私はそれを知らなかった」と、神さまを信じる決心をしたのです!神さまは、ヤコブさんが神さまを信じるより先に、ヤコブさんのそばまで来てくださり、ヤコブさんが一人ぼっちでいる時に、すばらしい約束をしてくださいました。家にいられなくなって、一人でさびしく旅をするヤコブさんにとって、どこでもずっと守って、家に戻してくれると約束してくれる神さまにお会いしたことが、たまらなく嬉しかったのです。この約束がどれだけ確かかってことは「天から地に向けて立てられているはしご」ということを読むとわかります。かってことは「天から地に向けて立てられているはしご」ということを読むとわかります。では上から立てたはしごを上るのではなく、天からかけられたはしごなら、ぜったいに天国へて、大流流に連れてってくださること、ぜったいに捨てないって約束をしてくださっているよ。その声が聞こえたら「はい!!」って答えようね。

## ◆お祈り

「神さまがいつもそばにいて守ってくださること、感謝します。この神さまを知り、信じることができますように。」 (盛岡みなみ教会牧師 大塚史明)